

## SSH 台湾研修活動報告



2019年12月8日(日)から14日(土)の期間に2年生24名で台湾を訪問し、たくさんの方と交流し、様々な学びを得てきました。その一部を活動報告としてご紹介します。

### 主な訪問先

- ▶ 921 地震教育園區
- ▶ 脳科学研究所
- ▶ 南投高級中学校
- ▶ ナノテク素材研究所
- ▶ 大同高級中学校
- ▶ 中正記念堂



大同高級中学校ドラゴンプール前

### 921 地震教育園區



体を動かして正しい避難方法を学ぶ子供向けのコーナーや、地震を実際に体験できる施設もあり、単なる遺構ではなく教育園區としての役割が意識されていて、地震の正しい情報と対処を後世に伝える施設として充実していた。

施設は地震の仕組みを模型などで分かりやすく展示されており、中国語が分からなくてもよく理解できた。

生々しい断層や倒壊した学校の姿は印象的。展示されているパネルや映像から、地震に関する基本的な地学の知識も得られる。宮城の津波の震災遺構とは違う「地震被害」の凄惨さを体感した。台湾の高校生が言っていた「台湾では法をすり抜けた丈夫でない建築が多く、建物が弱い」という発言の意味が分かった。

普段地学の授業を受けている私にとって大変興味深い設備がたくさんあった。21年前に起きた921大地震によって崩壊した建物をそのままの状態に保存した展示は、震災がいかに大きな被害をもたらしたかを起草させるには十分すぎるほどの迫力だった。

台湾の地震の被害状況を知って、台湾の方々も自分たちと同じような苦しみを味わっているのだと痛感した。国境を越えて協力して復興していくことの大切さを学んだ。



## 南投高級中学

バディと再会することができて嬉しかった。ポスター発表では、分からないことを積極的に質問する台湾の学生の姿勢から良い刺激を受け、研究発表の仕方について多くのことを学ぶことができた。

日本語を習っている生徒も何人かいたので、日本について関心を持っている生徒も多く、日本の歌手の話題で盛り上がった。学校のクラブで綱引き世界チャンピオンのチームに綱引きを教わり、実際に体験できて楽しかった。

「英語」がただの学問ではなく、言語であるということを実感できた。実際に自分の中にある語彙や文法を使ってコミュニケーションをとることで、英語を勉強することがどれだけ自分の世界を広げ、多くの人と交流するための力になるのかが分かった。これは英語でなければ自分の意思が伝わらないという環境だからこそ得られた学びだと思う。

防災についてディスカッションをし、一緒にお昼ご飯を食べながらお互いの趣味や将来の夢について話せて嬉しかった。驚愕の綱引き体験とホットタピオカミルクティーのおいしさは忘れられない。

学術研究のPPT発表では、台湾の生徒からの質問によって新しい視点も得られた。レクリエーションでは、バディと積み木のバズルゲームで頭を使いながら英語で交流し、現地の先生方も交じって台湾で有名な言葉遊びなどを通してバディ以外の生徒とも親睦を深められた。限られた時間の中、初めて会った異国の学生とこれほど仲良くなれた経験は、自分にとって貴重な財産となった。

バディからイングリッシュネームなるものを教えてもらった。自分も考えていればもっと良い名前でもらえたのだろう。夜には新しくできた友達にナイトマーケットを案内してもらうなど、たくさんの人とコミュニケーションをとることができて良かった。



## 大同高級中学



校内の設備が充実しており、最新の機器を用いて学習を快適に行おうという試みが窺われた。

PPT発表では自分たちのプレゼンの不足さを痛感したと同時に、他の班の発表を見てプレゼン能力の向上につなげることができた。

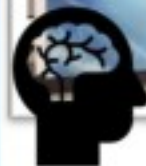


## 脳科学研究所

ハエの脳に関する研究について、3Dの映像を見ながら説明を受け、そのあと研究センターで学生の方から説明を受けた。特に興味をひかれたのが、オスとメスを一匹ずつ装置に入れ、オスがメスに近づいたらレーザーを当てるという実験。何回かレーザーを当てるとオスが学習し、メスに近づかなくなるというもの。講義でハエの脳と人間の脳が似ていると説明を受け、疑問に思っていたが、その研究のことを知って、ハエも人間と同じだと実感できて面白かった。



映像を見たり、研究室の見学をしたりした。とても面白く興味深かったが、専門用語が多く、英語の理解度が低いために質問ができず、悔しい思いをした。日本で考えた質問も自信をもって言えばよかった。また清華大学の敷地内は緑豊かで最高だった。日本には生えてない植物ばかりだった。



## ナノテク素材研究所



研究室の一部を見せていただいた。半導体は繊細なものなのでかなり精密に扱う必要があるそう。研究者は全身に防護服のようなものを着たり、水ではなく精製水を使ったりしていた。また、学生のポスター発表を英語で聞いた。わかりやすく説明しようとしていて熱意や優しさが伝わった。

大学生の英語がとても流暢で驚いた。自分の英語力の不足を身に染みて感じた。ポスターセッションは難しい内容で理解するのに苦労したが、事前学習のおかげで興味を持って聞くことができた。

ポスター発表では学術で培った聴衆としての視点を生かし積極的に英語で質問することができ、自信に繋がった。



衛兵交代式や蒋介石の石像で有名な中正記念堂は、実は台湾人で訪れる人は少ないらしい。寧ろ敷地内の自由広場や国家两厅院をコンサートなどの文化的活動を目的として訪れる場合の方が多らしい。歴史的背景にこだわらず、利用できるものは有効に活用する柔軟な考え方から私たちも学べるものがあるのではないだろうか。

記念堂の中で大きな蒋介石の像が中国の方向を見据えて座っていた。蒋介石は内戦で毛沢東に敗れてしまい、台湾に逃れこの地で亡くなったが、死後もずっと野望を抱き続ける姿に熱い思いを感じた。衛兵交代式は今まで体感したことのない空気を感じ、思わず息をのんだ。約20分の間、目を離すことができないほど衛兵のパフォーマンスは素晴らしかった。

## 中正記念堂



衛兵交代式は、全員の動きがそろっていて圧倒された。儀式の行進の歩き方は少しだけ一高の応援団長の入場とも似ていると思った。交代した後は少しも動かずにじっとフィギュアのように立っているのも驚いた。最初に見たときは本物の人間には見えなかった。儀式も、見張りも本当にすごい技術でたくさん訓練したんだと感じ、一生誇りに思える仕事だというのが納得できた。



## 自主研修



台北市の夜市を、学校訪問で仲良くなったバディに案内してもらった。やはり現地の子に案内してもらおうとおいしいものにすぐたどり着けるし、英語もたくさん話せて、とても充実した時間になった。

地元の人が並んでいるお店と、バディがおすすめするお店は高確率でおいしい。夜市にバディと行くと、ご飯やおみやげの話から大学や将来の目標の話まで、より交流ができる。学術発表の準備で忙しいが、ある程度下調べをしたほうが物の相場も分かって楽しめる。

おみやげ巡りをメインにした。雑貨屋は種類も多く、気軽に買える値段のものがほとんどだった。ただ、なかなか台湾っぽいものがなくて、これ可愛いけど、日本にありそう、みたいなことが多くて事前に下調べしておけば良かったと後悔した。



台湾の伝統や人の暖かさを肌で感じられる時間だった。何より食に関して日本ととても似ていたので、初の海外旅行をする人には激しく台湾をお勧めする。ただし味噌汁が結構甘かったのでもそこだけ注意。



駅がちょっと複雑だったからちょっと迷った。事前に下調べしまくったので行きたいところがいっぱい出てきて充実した観光になった。(スマホのマップがかなり使えた。)屋台は地元の人向けなので、中国語表記だけで何が売ってるのかわからなかったけど、おいしそうなものばかりだった。(実際どれもおいしかった。)



台湾の高校生と一緒に夜市を回った。臭豆腐を勧められて、拒否したが、おごるから食べてみてと言われたので渋々食べたところ、普通においしかった。確かに臭かったが、八角のにおいに比べたら遥かにましだった。彼女らに勧められなかったら一生食べなかったと思うのでいい経験だった。謝謝。



各々が行きたい場所に行き、台湾という国がどういう国なのかを見ながら散策した。現地の人との交流は普段はなかなかできないことなので、とても新鮮だった。



## 編集後記



私たちが学んできたことや台湾の魅力が、少しでも多くの方に伝われば幸いです。後輩の皆さん、SSH 海外研修に行って損することはありません。必ず新しい発見や出会いがあります。少しでも気になる方は、ぜひ前向きに考えてみてください。最後に、ここまで読んでくださった方々、ありがとうございました。

台湾研修に行ったことで、自分がとても狭い世界で生きていることを知りました。今後の生活が苦しくなったら、台湾に逃げようと思います。

